

スポーツを通じた教育的活動における暴力の根絶をめざして

学校法人梅村学園 中京大学

学校法人梅村学園 中京大学は建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」にもとづき、スポーツを通じた教育的活動において、心身のいずれに対しても暴力が使用されることに、断固として反対します。また、これまでの大学における状況を厳格な批判的精神をもって検証し、暴力を認めない基本方針を再確認していきます。

初等・中等教育機関の運動部活動やスポーツ組織等における暴力の使用という憂慮すべき状況が報じられています。「教育」「指導」の美名を用いようとも、児童・生徒および学生や選手が暴力により人間としての尊厳を傷つけられることは容認されるものではありません。暴力が一因となり、生徒自らが命を絶つに至る事件は誠に痛ましく、心からご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の無念さを思い哀悼の意を表します。

本学の建学の精神においては、学術とスポーツの調和をめざすことが独自の使命として掲げられてきました。そこには、スポーツにおける競技の技の向上をめざす中で、「ルールを守る」「ベストを尽くす」「チームワークをつくる」「相手に敬意を持つ」という4つの精神の体得が謳われています。本学創立者である梅村清明は「このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の1人としても誠に望ましい人間」であり、「如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する」として、本学の教育理念の道筋を示しました。スポーツを通じた教育的活動における暴力の使用は、上述の4つの精神のいずれにも反するものです。

中京大学は、この建学の精神に則り、また培われてきた伝統をふまえ、今後も、教職員、在学生、保護者、卒業生が互いに連携し、スポーツの教育的機能の本質を理解した人間像を具体化する教育に努め、大学としての社会的責任を果たしてまいります。